

宇宙の流れの中の私

岩手県奥州市 長田正名



あるとき宇宙で大爆発が起こり様々な物質ができました。ある星に、太郎炭素原子と花子炭素原子がいました。「お隣になったね」「またどこかの星で会いたいですね」。やがて二つの原子はそれぞれに流れて行きました。星の渦巻きが私たちの銀河系です。その中に我らの地球があります。なぜか、地球には生命が誕生し人間にまで進化しました。

地球のある高校に長田先生が赴任しました。裏山に栃の木があり「栃の実を食べるといふこと」という授業をしました。その実の中にあの二つの原子が流れてきていました。生徒の二郎さんと桃子さんも「美味しいね」と食べてくれました。しばらくの間二つの原子は二人の体の中にあることになりました。「また巡り会えましたね」。やがて二つの原子はそれぞれに流れて行きました。二郎さんと桃子さんもそれぞれ旅立って行きました。

今年8年ぶりに教壇に立ち、お米作りの手伝いもしました。「原始の流転物語」は最後の時間の人形劇です。高校からの帰り、ネクタイを外し、毎回数束ずつ稲を刈った後、一人でお茶を飲みます。60km北には高校のある早池峰山が見え、西山には夕日が沈もうとしています。「綺麗だな」と毎回呟いていました。どちらも嬉しい時間でした。「心・体・地球によいこと」。私は自身の苦悩を指針に今も捜しています。

この一年、皆さんのなさっている事やお考えなどをお聞きしたいなと思っています。

